

社会福祉法人新生福祉会 ボナプール楽生苑（広島県尾道市）

●事業の概要

【団体の概要】

- 1998年設立。特別養護老人ホーム、軽費老人ホーム、デイサービス等を運営。

【事業の概要】

- 宿泊、カフェ、物販、地域交流スペース等を設けた施設を新築し、就労継続支援B型事業として、障害者が宿泊施設の清掃、柑橘類の搾汁、カフェにて接客販売等に従事。

【施設デザインの特徴】

- 就労・宿泊・交流を大きな屋根の下に構成し融合を図り、まちやコミュニティの形成に寄与し、地域発信型のシンボルとなる「みんなの家」をつくる。
- 1階に交流スペースも設け、多様な人同士や、就労する障害者との自然な交流を誘発。
- 飲食機能やシャワースペースなどはあえて簡素な整備とすることで、地域の銭湯や飲食店に誘導。



●地域の概要、解決を目指す地域課題など

- 本施設が立地する生口島は、しまなみ海道の中心に位置している。施設は古い街並みの残るしおまち商店街に近く、瀬戸田市街地へ繋がる沿岸道路に面している。
- 生口島は本州・四国と陸路で繋がれ、多くの観光客やサイクリストが訪れる島である。柑橘生産が盛んであるが、季節労働者の宿泊施設不足や搾汁加工施設不足が課題となっている。
- 島内には障害者が就労する場がほとんどなく、就労を希望する障害者は長時間かけて島外の就労施設に通う必要があった。

●事業のコンセプトなど

【コンセプト】

- 豊かな風景と産業に囲まれた敷地で、新しい体験型福祉施設を実現することで、施設利用を通じて地域の課題解決に繋げ、より魅力的な地域社会を創出する拠点となる。

【地域との関わり】

- 宿泊施設やカフェ、アンテナショップのほか、地域交流スペースやレンタルキッチンも設けて、遠方からの来訪者以外にも、地域の子どもから高齢者まで地域の様々な人が交流し、就労する障害者とのつながりも生まれる拠点とする。

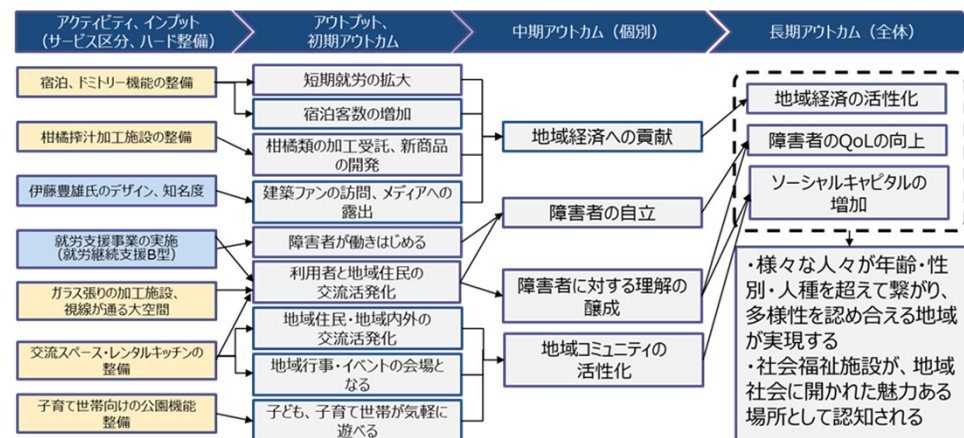
マラソンのエイドステーション、映画祭の出店、地域マルシェ出店、お神輿立ち寄り場所となるなど、地域や広域の様々なイベントで使用されています。しおまち商店街の飲食店への誘導や銭湯の割引クーポン配布など事業連携も進んでいます。

担当者の声



●ロジックモデル

- 利用者、地域住民の行動変容を通じて長期アウトカムの発現を目指す



●実現した効果

【アンケート調査】利用者

働くことに対して前向きになった	自分でできることが増えた
80.0%	66.7%
生活面でのプラスの変化があった	今の生活に満足・やや満足している
66.7%	66.7%

地域住民

今後も今の地域に住み続けたい	障害のある方との交流機会が増加した
79.4%	5.9%
地域活動や友人・知人等の付き合いが増加した	障害のある方との関わりが日常的にある
16.9%	3.2%
	↓
	11.4%

【その他の効果】

- 就労継続支援B型利用者数は開設時の15名から25名に増加。生口島以外にも、近隣の因島や三原市の利用者も契約。
- 短期就労者の受入15名。(受入農家3農家)
- 柑橘ドライ、プリン、グラノーラ、スムージーなど様々なオリジナル商品が開発され、ショップにて販売。



●総括

【障害者の自立】

- 利用者に対する調査結果からは、ボナプール楽生苑での就労を通じて、「働くことに前向きになった」「自分でできることが増えた」「生活面でプラスの変化があった」との回答割合が高い。就労に対する意識の向上や知識・技能の拡大が促されていると評価できる。

【地域経済への貢献】

- 地域の飲食店や銭湯との事業連携、搾汁売上やショップ売上が順調など、島内の観光消費や柑橘農業の課題解決に対して、本施設が一定の効果を果たしていると評価できる。